

令和6年 大町合同庁舎おもなできごと



北アルプス地域振興局
北アルプス農業農村支援センター
中信県税事務所大町事務所
大町保健福祉事務所
大町建設事務所



通年

大町合同庁舎フードドライブの実施

こどもカフェや生活困窮者の支援のため、「大町合同庁舎フードドライブ」を「県庁・合庁フードドライブ統一キャンペーン」に合わせ、計3回開催しました。地域の多くの皆様から、食品や日用品を寄付いただき、管内のこどもカフェや生活にお困りのご家庭にお届けしました。

(6～7月、10月、12月：大町合同庁舎)

地域振興局（総務管理・環境課）



多くの寄贈品が寄せられました

各市町村で農業の「地域計画」策定の 取組みが進む

令和6年度中に全ての市町村で作成が義務付けられている「地域計画」は、10年後の将来を想定し、残すべき・守るべき農地を明確化し、その農地一筆ごとに耕作者を明確化し、それを目標地図として整備するものです。

現在、各市町村で地域の農業者による「協議の場」を設けるなど、策定が進められています。

地域振興局でも担当する職員が支援チームを構成し、地域での話し合いなどに参加するなど、この計画策定に積極的に協力しています。

農業農村支援センター（農業農村振興課）



協議の場の様子

1月

大北地域ゼロカーボンミーティングを開催

1月26日（金）には「大北地域と調和した地域ぐるみの取組を考える」をテーマに、基調講演、パネルディスカッションを行い、113名の方々にご参加いただきました。

9月18日（水）には熱中症への対応策も含め「信州の気候変動の実態と将来」をテーマに開催し、48名の方々にご参加いただきました。

地域振興局（総務管理・環境課）

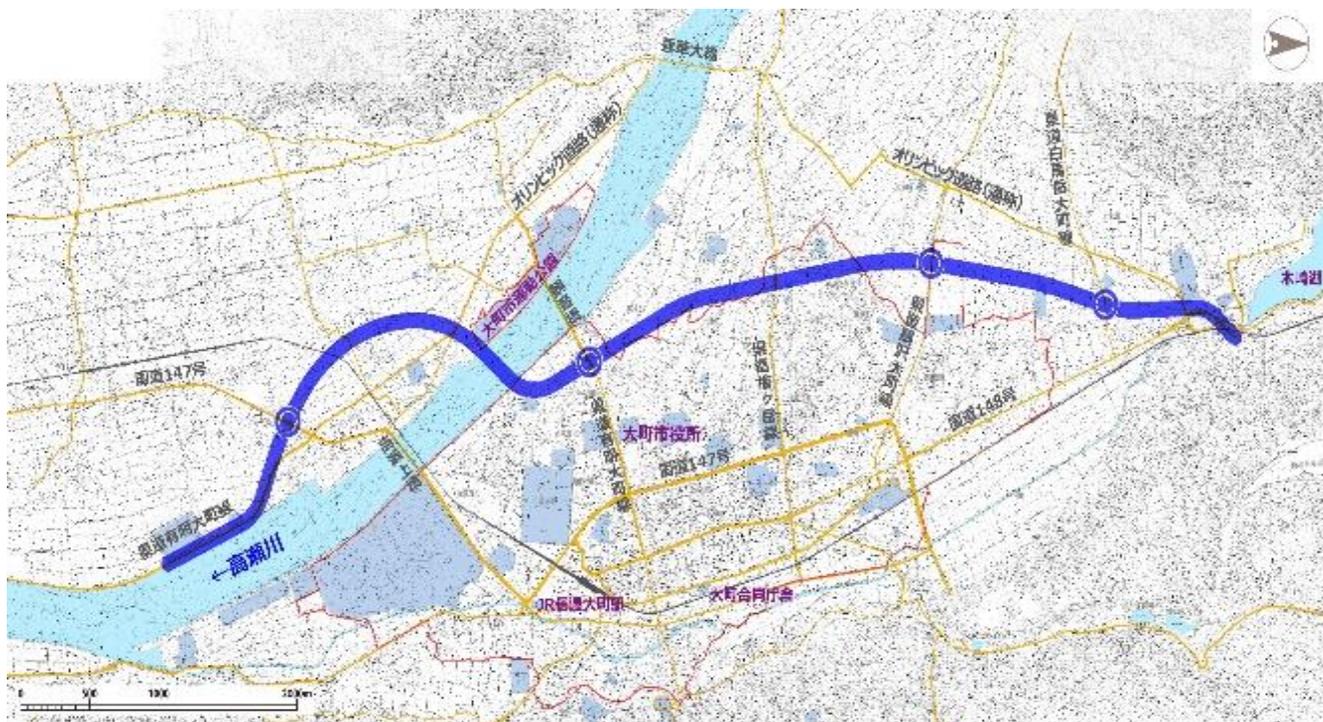


基調講演（1月サン・アルプス大町）

地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」 大町市街地区間の最適ルート帯の決定

大町建設事務所（整備・建築課）

大町市街地区間における幅の細いルート帯の選定について、各ルート帯の評価項目ごとの比較結果並びに比較評価を行い、最適ルート帯を決定しました。



地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」
大町市街地区間 最適ルート帯の概要

3月

白馬村切久保区が知事表彰（感謝状）を受賞

大町建設事務所（維持管理課）

長年にわたり、道路の愛護に努め、その実績が特に顕著な団体として、白馬村切久保区が、知事感謝状「道路河川愛護活動知事表彰」を受賞しました。



感謝状を授与される白馬村切久保区

大北地区森林祭を開催

美しく豊かな北アルプス地域の緑を守り、森林が果たしている役割の理解を深め、環境づくりへの関心を高めることを目的として5月30日（木）に開催しました。

本年度は「伐って(伐倒作業)、運び出し(馬搬)、木製ベンチの作製(簡易製材機での製材)までの流れ」を間近でご覧いただき、植樹作業を行いました。

地域振興局（林務課）



小谷村梅池地区での植樹作業の様子

「交通死亡事故ゼロ」知事表彰の伝達

「交通死亡事故のない期間1,000日」を達成した白馬村、松川村に対して長野県知事表彰（長野県交通安全運動推進本部長市町村顕彰）の伝達を行いました。

（令和6年5月27日（月）：白馬村役場）

（令和6年10月3日（木）：松川村役場）

地域振興局（総務管理・環境課）



白馬村



松川村

北アルプス山麓育ち台湾プロモーション事業

「長野県北アルプス山麓台湾交流促進派遣団」では、5月28日（火）から6月2日（日）まで、台湾でのプロモーション活動を行いました。

宜蘭県、台中市、南投県で教育旅行プレゼン・商談会を実施し、近隣地域の小・中・高校学校関係者（62校76名）に参加をいただきました。

このほか、台中市及び南投県において、旅行会社や市政府機関等を訪問し、観光、農業などの分野で今後の新たな連携について懇談を行いました。

地域振興局（商工観光課）



台中市における商談会の様子

6月

管内で初めて飼料用子実トウモロコシの本格栽培開始（6月～11月）

大町市の大規模農業法人が、大豆の減収などの連作障害対策として、トウモロコシの本格栽培を開始しました。

令和5年度に県の支援を受け実施した栽培試験の成果に手ごたえを得て、今年度は栽培面積を3.5haに増やし、国の補助事業を活用して収穫機械も導入しました。

農業農村支援センター（技術経営普及課）



トウモロコシの収穫作業

「第49回大北地区障がい者運動会」を開催

スポーツを通じて障がいのある人とない人との交流機会の拡大及び障がいに対する理解促進を目的として6月29日（土）に開催しました。

パラスポーツ体験と大玉送り等の競技型のプログラムを織り交ぜ、318人（選手271名、スタッフ等47名）が参加し、交流を楽しみました。

大町保健福祉事務所（福祉課）



大町市総合体育館での運動会の様子

7月

ブラックバス釣り大会の開催

管内の漁業協同組合で組織する、大北漁業協同組合連絡協議会（事務局：地域振興局）では、外来魚の駆除や小中学生への釣りの普及とマナーの向上を目的に、「ブラックバス釣り大会」を7月21日（日）に大町市の中綱湖において開催しました。

当日は、市内外から多くの皆様に参加いただき、早朝から釣りを楽しみながら外来魚駆除に御協力いただきました。小中学生の部・一般の部それぞれに釣った魚の総重量と大きさで上位入賞者を決め、表彰を行いました。

農業農村支援センター（農業農村振興課）



釣り大会の入賞者の皆様

「大北地区タウンミーティング2024 (フューチャー・デザイン・ワークショップ)」を開催

「誰もがその人らしく生き抜く長寿社会」と「誰にでも居場所と出番がある社会」をつくるため、未来の“私たち”から学ぶ「フューチャー・デザイン・ワークショップ」を7月24日（水）に開催しました。

20代から80代の約50名が9組に分かれて、今の私たちの選択が未来をつくるという認識を共有し、北アルプス地域の未来から現在を俯瞰しながら意見交換を行い、地域づくりに活かす新たな視野を獲得する機会となりました。

※フューチャーデザインとは

持続可能な未来を創造するために、将来世代の視点から、社会や組織の意思決定を行うための考え方

大町保健福祉事務所（福祉課）



サン・アルプス大町でのワークショップの様子

「信州山の日」10周年記念行事の開催

令和6年7月28日（日）国営アルプスあづみの公園 大町・松川地区において「信州山の日」10周年記念行事が開催されました。

当局からは、県産材を活用した木工体験ブースを出展しました。

地域振興局（林務課）



木工体験をする参加者

北アルプス地域滞在型周遊デジタルスタンプラリー

北アルプス地域全体で周遊観光を促し、通年誘客と滞在日数の長期化を図るため、デジタルスタンプラリーを7月から11月まで開催しました。約1,700人が参加し、北アルプス地域の魅力を発信しました。

また、大糸線の利用促進を図るため、主要駅を含む9箇所をスポットとした特別なスタンプラリーを実施し、1,642個のスタンプ取得につながりました。



参加者には抽選で豪華景品をプレゼント
(写真はイメージです)

地域振興局（商工観光課）



9月

「北アルプス山麓育ち」観光プレゼンテーション・商談会 in 中京圏・東海

ドライバー不足やワンマン運行の走行距離が制限されている状況において、当県からの距離が比較的近い中京圏・東海地方からの更なる誘客を図るため、『「北アルプス山麓育ち」観光プロモーション・商談会』を名古屋市（9月11日（水））及び静岡市（9月25日（水））で開催しました。

名古屋市での開催は2019年以来5年ぶり、静岡市では初めての開催で、管内の各事業者によるスキー、ラフティング、天然水工場、農業体験などの体験型観光や美術館などについて、プレゼンテーションを行いました。

商談会では、旅行エージェントからも質問が出されるなど、終始盛り上がった商談会となりました。

地域振興局（商工観光課）



名古屋会場



静岡会場

農村生活マイスターのつどいを開催

農業経営と農家生活の向上に意欲的な女性農業者を知事が認定する「農村生活マイスター」が一堂に会する研修会「農村生活マイスターのつどい」を、9月4（水）、5日（木）に小谷村で開催しました。

県下各地から会員80名が参加し、小谷村の相澤つたゑさんの講話、松川村の「とんすけとこめたろう」の紙芝居の発表、白馬村の「農かふえ」の視察などを行いました。

コロナ禍で中止されていた宿泊研修の開催は6年ぶり、北アルプス管内では初開催となりました。

農業農村支援センター（技術経営普及課）



小谷村でのつどいの様子

ツキノワグマ出没警報発令

県内でのツキノワグマによる人身被害が複数発生し、里地での目撃件数が急増していることから「9月9日（月）にツキノワグマ出没警報」が発令されました。

当管内においては、9月5日（木）に松川村で2名の方が被害に遭われたことを受け、広域連携クマ対策チーム（県、市町村、警察署、猟友会、県クマ対策員）によるセンサーカメラ調査、柵・楯点検、パトロール、緊急時の対応訓練等を実施しました。

地域振興局（林務課）



ツキノワグマ出没を受けての訓練の様子（松川村）

北アルプス地域ACEフォーラムの開催

健康づくり県民運動「信州ACEプロジェクト」の一環として、「運動」や「食」に関する学びと実践のためのフォーラムを松川村リンリンスポーツフェスティバルに併せて10月27日（日）に開催しました。児童や幼児親子を対象に北京五輪陸上男子400mリレー銀メダリストの塚原直貴氏による「かけっこ走り方セミナー」と食育関係団体による「食育なぞ解きチャレンジ」を実施し、併せて300名以上の参加がありました。

大町保健福祉事務所（健康づくり支援課）



松川小学校でのかけっこ走り方セミナーの様子

高校生に向けた介護の仕事に関する講座の開催

介護分野への人材確保の取組として、大学の教授や管内介護サービス事業所の職員を講師に迎え、仕事の魅力ややりがいについて理解を深めてもらう講座を、白馬高校で10月30日（水）と11月6日（水）の2回にわたり開催しました。

大町保健福祉事務所（福祉課）



白馬高校での講座の様子

11月

「北アルプスの麓で暮らし・働く大相談会2024」を開催

11月16日（土）、首都圏在住者を対象とした移住相談会「北アルプスの麓で暮らし・働く大相談会2024」を東京交通会館で開催しました。

北アルプス地域5市町村の移住相談をはじめ、仕事や住まいの相談を行い、33組45名の来場がありました。

地域振興局（企画振興課）



相談者で賑わう会場内

県の税務行政に協力された方に 知事感謝状を伝達

令和6年11月15日（金）、大町合同庁舎において、中信県税事務所大町事務所管内で受彰されました県税功労者1名の方と小谷村様に対しまして、知事感謝状の伝達式を行いました。

中信県税事務所大町事務所



(一) 千国北城線（中島工区）の 道路改良工事が完成

平成26年から整備を進めていた（一）千国北城線 小谷村中島工区の道路改良工事が完成しました。

本路線は（国）148号と柵池高原を結ぶ道路であり、早期の道路改良が望まれていましたが、全体計画L=700mの整備が完了しました。

大町建設事務所（整備・建築課）



（一）千国北城線 小谷村中島工区

令和6年度北アルプス地方部 地震防災訓練の実施

災害発災時の危機管理体制の確認と関係機関との情報共有や対応手順を確認するため、地震防災訓練を11月28日（木）に実施しました。

地域振興局、保健福祉事務所、建設事務所、消防、警察等から約70名が参加し、市町村への派遣を想定した情報連絡員からの被害情報や、県の防災情報システムを確認しながら、連携して初動対応を検討しました。

地域振興局（総務管理・環境課）



訓練の様子

大北地域広域災害医療訓練の実施

大規模災害時における医療救護体制について確認・検証を行うため、大北地域の関係機関が参加し、広域災害医療訓練を11月9日（土）に実施しました。

大北地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、診療所、消防、警察、市町村等から159名が参加し、大北地域を震源とする地震により各地で被害、多くの傷病者が出たことを想定して、災害時の連携や情報共有について確認しました。

大町保健福祉事務所（総務課）



訓練の様子

製材マルシェを開催

北アルプス産木材（製品）の魅力を発信する「製材マルシェ」を11月10日（日）に実施しました。

広葉樹板材、木工製品の展示や製材デモンストレーションが行われ、県内外からの木工作家などが来場されました。

地域振興局（林務課）



製材マルシェの様子

12月

（主）大町明科線松崎地区の歩道が完成

平成30年から街路事業として整備を進めていた（都）館の内借馬線（（主）大町明科線）大町市 松崎工区の歩道整備工事が完成しました。

道路西側に約280mの歩道が整備され、自動車、歩行者ともに安全かつ円滑な通行空間が確保されました。

大町建設事務所（整備・建築課）



大町市松崎工区の歩道

上手2号砂防えん堤が完成

土石流災害の防止を図るため、大町市の布引沢に建設を進めていた上手2号砂防えん堤が完成しました。高さ11m、横幅78m、使われたコンクリートの量は約4000m³、真ん中に鋼製スリットがある透過型砂防えん堤です。

大町建設事務所（整備・建築課）



大町市布引沢の上手2号砂防えん堤

小谷村阿原工区の 地すべり防止工事が竣工

小谷村阿原工区で整備を進めていた床止工が竣工しました。この床止工は、水の流れによる河川の浸食を防ぐ役割を果たしており、地すべり災害の防止・軽減を図っています。なお、本工事の完成により地すべり対策事業広見地区（阿原工区含む）で計画していた全ての地すべり防止施設が完成しました。

地域振興局（農地整備課）



小谷村阿原工区で竣工した床止工